

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公表番号】特表2001-507180(P2001-507180A)

【公表日】平成13年5月29日(2001.5.29)

【出願番号】特願平10-527826

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 7/025

G 0 9 G 5/34

H 0 4 N 5/445

H 0 4 N 7/03

H 0 4 N 7/035

【F I】

H 0 4 N 7/08 A

G 0 9 G 5/34 A

H 0 4 N 5/445 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月3日(2004.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年12月3日

特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第527826号

2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国 インディアナ州 46290-1024
インディアナポリス ノース・メリディアン・ストリート
10330

名 称 トムソン コンシューマ エレクトロニクス
インコーポレイテッド

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号
飯野ビル336号室
電話 (3502) 2871

氏 名 (8732) 渡 辺 勝 徳



4. 補正の対象

発明の名称、明細書、および請求の範囲。



5. 補正の内容

- (1) 発明の名称を「スクロール・レートを調整する方法」と補正する。
- (2) 明細書第1頁第7行中の「(scroll rate)」を「(scroll rate:スクロール速度)」と補正する。
- (3) 明細書第4頁第12行中の「一時的に貯えられる」を「一時的に記憶さ(貯えられる)」と補正する。
- (4) 請求の範囲を別紙のように補正する。

6. 添付書類

請求の範囲

以上

請 求 の 範 囲

1. 表示可能なテキスト情報のスクロール・レートを調整する方法であって、
 入力信号を処理してテキスト情報を発生するステップと、
 前記テキスト情報をバッファ・メモリに記憶するステップと、
 前記記憶されたテキスト情報を行に表示するステップと、
 前記テキスト情報の表示をスクロールするステップと、
 前記テキスト情報の表示の所定の状態を検出するステップと、
 前記所定の状態に応答して、前記テキスト情報の表示のスクロールを中断する
 ステップと、
 前記バッファ・メモリ内に記憶されたテキスト情報の量に応じて中断の持続期
 間を変えるステップと、から成る、前記方法。
2. 前記表示の前記所定の状態が、前記テキスト情報の完全な一行の表示から成
 る、請求項1記載の方法。
3. 前記バッファ・メモリに記憶されているテキスト情報の量が、以前に表示さ
 れていないテキスト情報の量から成る、請求項2記載の方法。
4. 前記テキスト情報を表示するステップが、
 前記バッファ・メモリに記憶されている、以前に表示されていないテキスト情
 報の量を測定するステップと、
 前記バッファ・メモリに記憶されている、以前に表示されていないテキスト情
 報の前記量の変動に応じて前記中断の持続期間を調整するステップと、から成る
 、請求項3記載の方法。
5. 前記調整するステップで、前記バッファ・メモリに記憶されている以前に表
 示されていないテキスト情報の前記量の変動に応じて、前記以前に表示されてい
 ないテキスト情報にアクセスする速度を調整する、請求項4記載の方法。
6. 前記表示するステップで、前記テキスト情報を表す信号を発生し、前記信号
 を表示装置に結合させる、請求項5記載の方法。
7. 前記所定の状態に応じてスクロールを中断するステップが、
 $\text{MAX} [\{a - (b \times \text{BUFFER_FULLNESS})\}, g]$
 により定められる期間の間休止する、請求項4記載の方法。ここで、aは表示フ

ールド期間における最大休止時間を表し、 $BUFFER_FULLNESS$ は前記制御信号の値を表し、 g は最少休止時間を表し、 b は定数である。

8. 以前に表示されていないテキスト情報を含んでいない、前記バッファ・メモリの空の状態を検出するステップと、

前記空の状態を検出して、前記空の状態が所定の期間持続した後に、前記表示を消去するステップとを更に含む、請求項3記載の方法。

9. 以前に表示されていないテキスト情報が、前記バッファ・メモリに記憶されるまで、前記消去するステップで前記表示を消去する、請求項8記載の方法。

10. 前記入力信号が、テレビジョン信号から成り、前記テキスト情報が、前記テレビジョン信号の補助情報成分から抽出されるクロズド・キャプション情報から成る、請求項1記載の方法。

11. 表示装置上で表示可能なテキスト情報のスクロール・レートを調整する方法であって、

第1のテレビジョン信号の補助情報成分からテキスト情報を抽出するステップと、

前記テキスト情報をバッファ・メモリに記憶するステップと、

前記第1のテレビジョン信号と第2のテレビジョン信号を処理して、前記第1のテレビジョン信号中に含まれるビデオ情報を表示する第1の領域、前記第2のテレビジョン信号中に含まれるビデオ情報を表示する第2の領域、および前記記憶されているテキスト情報を表示する第3の領域を備える表示画面を発生するステップと、

前記記憶されているテキスト情報を処理して、一行の前記テキスト情報を表示する出力信号を発生するステップと、

前記第3の領域における前記テキスト情報の完全な一行の処理に応答して、前記記憶されているテキスト情報を処理するステップを休止することにより、前記バッファ・メモリに記憶されている前記テキスト情報の量と関連するスクロール・レートを発生するステップと、から成る、前記方法。

12. 前記テキスト情報の完全な一行の処理に応答して休止するステップが、

$MAX \left[\{ a - (b \times BUFFER_FULLNESS) \}, g \right]$

により定められる期間の間休止する、請求項12記載の方法。ここで、 a は表示フィールド期間における最大休止時間を表し、`BUFFER_FULLNESS`は前記制御信号の値を表し、 g は最少休止時間を表し、 b は定数を表す。